

「ふるさと防災教室」を開催しました



村上岩船ロータリークラブ

会長 平川啓一

平成 28 年 8 月 3 日、私ども村上岩船ロータリークラブ（新潟県村上市）主催、いわふね青年会議所（同）共催で、地域社会への奉仕事業として「ふるさと防災教室」を開催しました。

日本だけでなく世界のいたる所で自然災害が発生し多くの尊い命が犠牲になっております。そして新潟県の北部を流れる荒川周辺地域にも大きな被害をもたらした昭和 47 年の羽越水害から、来年で 50 年となります。そこで子供たちが日常から防災・減災に深い関心と意識を持ち、自分で考え判断し行動できる「防災力」を身につけてもらうことが目的です。事業内容は、羽越水害の被害地域の小学校 9 校に在籍する 5 年生を対象に、一般財団法人防災教育推進協会が行っている『ジュニア防災検定』の受検と、国土交通省羽越国道河川事務所による『防災講習会』でした。

夏休み中にもかかわらず、対象児童総数 228 名中、なんと約 76%にあたる 174 名の子供たちが参加。子供たちからは「(ジュニア防災検定の事前課題として) 災害時の避難場所などについて初めて親と話し合った」、「自分たちの命は自分たちで守らなければならないので、防災についてもっと勉強していきたい」等々の意見や感想をもらうことができました。

村上市をはじめ被害を受けた周辺自治体や関係機関が構成員となり「羽越水害 50 年記念事業実行委員会」を立ち上げ、記念事業を企画しているタイミングでの「ふるさと防災教室」の開催でした。来年に向けてのプレ事業として行政や関係機関から大いに歓迎され、絶大なる協力をもらうこともできました。ジュニア防災検定の事後課題として防災ポスターを作成してもらい、そのポスターは羽越水害 50 年記念事業の一環として展示会を開催するなど、活用させてもらうことにしております。

以上